

平成29年度 第1回健康おかざき21計画推進協議会 会議録

日時:平成29年7月12日(水) 午後1時30分～3時00分

場所:岡崎げんき館 1階 多目的室

出席委員:安藤委員(議長) 阿部委員 太田(憲)委員 太田(義)委員 月東委員 河津委員  
近藤委員 高木委員 武田委員 鳥田委員 矢野委員 横山委員

欠席委員:浅田委員 市川委員 小原委員

傍聴者:なし

事務局:保健部長 柴田 保健所長 服部 保健部次長兼生活衛生課長 糟谷  
健康増進課長 片岡 保健企画課総務企画係長 古瀬川  
健康増進課食育栄養係長 二村 健康増進課健康増進係長 青山  
健康増進課母子保健1係長 山本 健康増進課母子保健2係長 鈴木  
健康増進課精神・難病係長 天野 他健康増進課職員5名

内容:開会

部長挨拶

議題

- 1 健康おかざき21計画(第2次)の指標等の現状
- 2 平成29年度健康増進事業
  - (1) メンタルヘルスに関する市民意識調査
  - (2) おかざき健康マイレージ事業
  - (3) 第3次岡崎市食育推進計画
  - (4) スマートウエルネスシティの考え方に基づく健康づくりの推進
- 3 作業部会の協議・検討内容

保健所長挨拶

閉会

議題1 健康おかざき21計画(第2次)の指標等の現状について

議長	議題1「健康おかざき21計画(第2次)の指標等の現状について説明を行う。
事務局	資料1「健康おかざき21計画(第2次)の指標等の現状」、資料2「各分野の指標の現状」に基づき説明。
議長	事務局の説明について、御意見、御質問をお願いしたい。
委員	健康づくりを目的として、体力測定会、グランドゴルフ大会、歩け歩け大会などの健康づくりスポーツ事業を行っている。また、体を動かし、人と触れ合うことにより、生きがいを深めることも大切だと考える。そのため、公園の掃除などの社会奉仕、児童の通学時の見守り、旅行などの健康づくりを総合的にとらえ、参加することにより自然と体力づくりとなるような取り組みを続けていきたい。

議題2 平成29年度健康増進事業について

議長	議題2「平成29年度健康増進事業」の1～3について説明を行う。
----	---------------------------------

事務局	メンタルヘルスに関する市民意識調査について、おかざき健康マイレージ事業、第3次岡崎食育推進計画について説明。
議長	おかざき健康マイレージ事業の課題として「事業所単位での参加」について、商工会議所として会員への周知や、事業所の取組などについて意見をいただきたい。
委員	健康づくりの意欲を高めるには、企業の環境整備のための情報発信が大切。例えば、事例を伝えることにより、同規模、同業種の意見を参考に環境づくりができるため、自発的に取り組む意識が高められると考えられる。食に関しては飲食店に登録制度や推奨している指標などの情報を発信することで参画してもらえるのではないかと。 別の会議で食育について質問を受けた。食育というと成長過程にある子どもが対象のようだが、命を守るための誤嚥を防ぐなど高齢者に向けて食育の取組はあるのか？
事務局	出前講座や健康教育などで栄養士が出向いて、要望に合わせて講話を行っているので、是非紹介してほしい。
議長	「おかざき食育やろまいプロジェクト」について、市民に浸透させる仕掛けについて御意見をいただきたい。
委員	最近、飲食店などで旗を見かけることが増えている。旗やチラシを見かけると野菜を摂ること、ベジファーストについて再認識できるので、よい取組だと思われる。また、スーパーなどで行政のポスターに掲示してあるとよいと思う。
委員	プロジェクト自体は分かりやすいが、8つ並ぶと項目が多いように思われる。それぞれの項目の対象は誰なのかを明確にし、例えば、「早寝早起き朝ごはん」は子ども、「宴会プロジェクト」についてはお父さん世代、「野菜プロジェクト」、減塩についてはお母さん世代などターゲットを絞って周知していくとよいと思う。また、岡崎市は県外からの転入者も多いようなので、郷土料理については転入時に紹介してもよいのではないかと。
委員	市との共同事業で食文化継承クッキングを昨年度は7回、今年度は5回実施予定。小中学生の親子を対象にしている、応募者も多く、抽選を行った。調理に長時間かかるものは無理だが、現在やっている郷土料理以外で何か要望があれば教えてほしい。
委員	若い世代では SNS、LINE、ツイッターなどから情報を得ることが多い。例えば、岡崎市のアカウントをフォローすると何か特典があり、そこから情報が発信できればよいと思う。また、減塩の推奨については献立を立てる時に1品を酢の物に代える、だしの味を利かせ、調味料の使用量を減らす乳和食の提案など具体的な例を紹介していったら減塩につながると思う。
事務局	飲食店への旗やのぼりなど、PR 活動が効いてきたようなので、今後も健康づくりサポート施設推進事業を広めていく。健康増進普及月間が9月にあり、ヘルシーランチ、弁当の提供店を募集している。健康につながる料理を食べてもらう仕組みづくりをしていく予定。「やろまいプロジェクト」も項目に合わせて年齢層に分けて、アプローチしていく取組が必要だと思われる。昨年度の文化継承クッキングは 180 人の参加があった。郷土料理を広く知ってもらうのに、若い世代への事業の周知や転入時に紹介するなど今後の課題としたい。現在、市ホームページに食育についての情報を掲載しているが、SNS を使って発信することについては検討していきたい。健康づくりの情報について委員からの発信や、事業について事務局への投げかけを今後もいただきたい。
事務局	スマート・ウェルネス・シティの考え方に基づく健康づくりの推進について説明。
議長	健康づくりリーダーの立場から無関心層に歩いてもらうための仕掛けや取組に

	ついて御意見を伺いたい。
委員	市民会議の健康づくり講座やウォーキング講座の参加者は、健康づくりに興味がある固定メンバーになっているのが現状。無関心層にも参加していただくことが課題であると感じている。短時間でも運動量を増やすことが重要だと感じているため、各講座で友人を連れて参加するよう促している。身近な人から声掛けし誘い出すことで、少しでも運動量を増やしていくことを意識して活動している。自宅内でのながら運動や自宅周辺であれば歩ける人が多いと感じている。素敵な場所を紹介するウォーキングマップが全学区にあるとよい。関心がない方はコースがあっても出てこないかもしれないが、最近は講座に男性参加者も増えたり健康に関するテレビ番組も増えたりと健康への関心は高まっていると感じる。

### 議題3 作業部会の協議・検討内容について

事務局	作業部会の協議・検討内容について報告。
議長	事務局からの説明に対して御意見、御質問があればお願いしたい。 作業部会で活動する中で、自身の生活や環境に変化があったか。
委員	移動に車を使うようになり運動不足を感じたため、夜間走ったり簡単な運動をしたりするよう意識している。
議長	作業部会に参加しながら自分も学び、生活に生かしていくという取組も大切。 御意見が他になければ、全体を通しての御意見、御質問を伺いたい。
委員	スマート・ウェルネス・シティの考え方を初めて聞き、岡崎ジャズストリートが思い浮かんだ。岡崎ジャズストリートでは、4つの会場を歩いて回り、音楽や食べ物を楽しみながら運動ができる。このようなものが日常的にできるようになると、リバーフロント事業にもつながっていきよいと思う。無関心層をどう取り込んでいくかという課題は難しいが、近年、人気が高まっている市民マラソンや市民ランナーに焦点を当て、無関心層がマラソンに興味をもった理由を調査し、対策を考えていけるとよい。薬剤師としては、日頃から薬だけでなくベジファーストや減塩等生活習慣についても服薬指導で伝えている。今後も引き続き根気強く指導していきたい。 今後もっと広く周知していけるとよい。
委員	歯科関係の指標をライフステージで見ると、小児期まではデータが取れており達成もできているが、成人期については根拠法令がなく、データもない。事業所のアンケートで歯と口の健康分野の情報提供を希望する所がゼロというのも情けない。ある会議に出た際、介護関係の方から地域医療計画の歯の健康に力を入れてほしいという話が出ていたため、歯科に関心が高い住民が多いかと思ったが、そうでもないのかと感じた。
事務局	無関心層への働きかけについては、行政目線だけでなく、いろいろな立場の方からの口コミや声かけが大切。委員の皆さんにも御協力いただきながら一緒に働きかけていきたい。 歯科のデータについては来年度中間評価の予定なので、データが出たら御報告させていただきます。
議長	以上で本日の議題を終了する。